

家族って

村上市立神納中学校 3年 吉村 祐美

家族って、自分にとってどんな存在なんだろう？あなたは自分自身にそんな問いかけをしたことはありませんか。私が笑っていれば、一緒に笑ってくれる。私が泣いていれば、心配して話を聞いてくれる。相談相手。一緒にいて安心する存在。いつでも味方でいてくれる。私の家族はそう思える家族です。

しかし、私はそんな家族のいる家に帰りたくないと思ったことが一度だけあります。それは、私が中学三年生になったばかりの時でした。家の雰囲気は何だか暗い。会話も少なく、自分も含めて、ピリピリしていた。そう感じた私は家の中を少しでも明るくしようと思い、自分なりに頑張ってみました。ご飯を食べながら学校であったおもしろい話をしたり、おどけて笑わそうとしたりしていました。しかし、暗い雰囲気が明るくはなりませんでした。

そんなある日、私はささいなことで姉とけんかになりました。お互いイライラしていて、あたりどころが他に無かったのでしょうか。そのとき、私から出た言葉。

「私は、みんなを盛り上げようと頑張っているのに。」

私は、努力もむなしく、家族が暗い雰囲気のままであることへの不満を口に出したのです。すると、姉は、

「別に、頑張らなくてもいいじゃん。」

と一言。私はショックでした。今までやってきたことは何だったんだろうと思いました。自分は家族のために明るく振る舞っていたのに……。頑張っていたのに……。

そんなことから、私は次第に、自分はこの家になくてもいいんだ、という気持ちになっていきました。

姉とのけんかの数日後、なんだか家に帰るのが億劫で、いつもより遅い時間に家に帰りました。すると、父から怒られました。口調は穏やかでしたが、言葉には、気持ちがこもっていました。なんで怒るんだ、そのときはそんなふう

にしかとらえられませんでした。しかし、

「お父さん、心配してたんだよ。」

姉からそう言われたとき、なにか今までもやもやしていた気持ちがスッとしたような気がしました。気付いていないところで支えられていた自分がいた。自分はいらないんだ、と思っていた考えも変わりました。家族の中でいない人なんていない。そう強く感じました。

世界にはいろいろな家族がいます。核家族。大家族。すぐそばで一緒に暮らしている。遠く離れたところで別々に暮らしている。どんな家族でも家族がいることはすごくありがたいことだと私は思います。ご飯を作ってくれる。寝坊しそうになったときは起こしてくれる。忘れ物をしたときには学校まで届けてくれる。「ただいま」と言ったら、「お帰り」と言ってくれる。私が、当たり前前に思っていることは、家族がいるからできていることなんです。何も言わずただ、遠くから見守ってくれることだって幸せなことだと思います。

時には、家族にイラッとしてけんかしてしまうこともあると思います。しかし、けんかができるということも、私は幸せなことなんだと思います。それだけ、言いたいことをぶつけあえる仲だという証拠だと思うから。

家族が暗い状態の時、自分一人頑張ってなんとかしようと思わず、自分の気持ちを家族に話せばよかったと思います。そう思うと「別に頑張らなくてもいいじゃん。」という姉の言葉の意味も分かってきます。

今、あなたは家族と上手くいっていますか。家族を邪魔なものだと考えている人はいませんか。もし、うまくいっていなければ、家族と本音で話してみてもどうでしょうか。自分一人で抱え込まず、家族に打ち明けてみるはどうでしょうか。上手くいっていない原因が分かるかもしれません。うっとうしいと思っていた言葉が、実はあなたを心配する言葉だったかもしれません。相手の考えを聞いて、初めて分かることもあるかもしれません。心ではつながっていても、言葉にしなければ伝わらないこともあると思います。家族だからこそ、本音で話をしてみましょう。

自分の意見が言える。一緒にいて安心できる。そんな存在でいてくれる家族が、私は大好きです。